



銀座・丸の内・六本木に対抗
池袋 **新宿** **渋谷**
3都市つなぐ新聞

売り上げの4割が免税売上を占める歌舞伎町のドン・キホーテ(右)



新宿・渋谷・池袋のインパウンド商戦

昨年1年間に訪れた訪日外国人客は前年比2割増の2,869万人。今年に入ってから、訪日客の勢いほとんど変わらず、政府が目標に掲げる20年の4,000万人突破が現実味を帯び始めた。この訪日客の“増”に支えられ、新宿・池袋・渋谷の副都心地区にある百貨店・商業施設・ホテルのインパウンド需要も堅調な伸びを示した。百貨店では、今年の「春節」期、各店とも前年を上回る免税売上を記録した。一方で訪日客の購買動向はこの2、3年の間で大きく変わった。大量に商品を買込む“爆買い”から、サービスを受けながら、じっくり商品を見極めて買うサービス・コト消費型へと移っている(関連記事3面)。

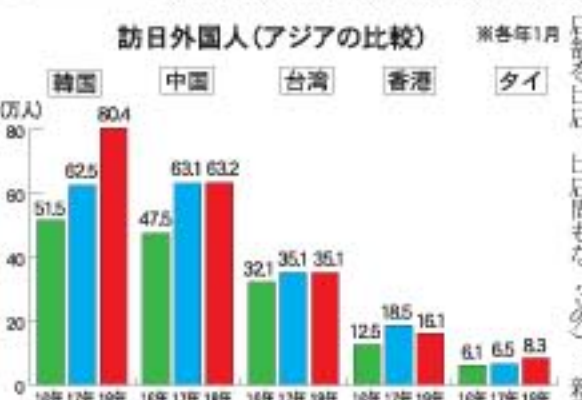
京王百貨店 2階に化粧品売場を新設

小田急百貨店 高級ブランド・グッチが出店

百貨店の免税売上は好調だ。今年の春節期(今年2月15日〜21日)と昨年1月27日〜2月2日の比を数値で比較した。百貨店では、今年の「春節」期、各店とも前年を上回る免税売上を記録した。一方で訪日客の購買動向はこの2、3年の間で大きく変わった。大量に商品を買込む“爆買い”から、サービスを受けながら、じっくり商品を見極めて買うサービス・コト消費型へと移っている(関連記事3面)。

免税売上げ 「春節」で中国客過熱

百貨店は高額品が売れる。モノからコト消費へ



百貨店の免税売上は好調だ。今年の春節期(今年2月15日〜21日)と昨年1月27日〜2月2日の比を数値で比較した。百貨店では、今年の「春節」期、各店とも前年を上回る免税売上を記録した。一方で訪日客の購買動向はこの2、3年の間で大きく変わった。大量に商品を買込む“爆買い”から、サービスを受けながら、じっくり商品を見極めて買うサービス・コト消費型へと移っている(関連記事3面)。

免税売上げは好調だ。今年の春節期(今年2月15日〜21日)と昨年1月27日〜2月2日の比を数値で比較した。百貨店では、今年の「春節」期、各店とも前年を上回る免税売上を記録した。一方で訪日客の購買動向はこの2、3年の間で大きく変わった。大量に商品を買込む“爆買い”から、サービスを受けながら、じっくり商品を見極めて買うサービス・コト消費型へと移っている(関連記事3面)。

百貨店の免税売上は好調だ。今年の春節期(今年2月15日〜21日)と昨年1月27日〜2月2日の比を数値で比較した。百貨店では、今年の「春節」期、各店とも前年を上回る免税売上を記録した。一方で訪日客の購買動向はこの2、3年の間で大きく変わった。大量に商品を買込む“爆買い”から、サービスを受けながら、じっくり商品を見極めて買うサービス・コト消費型へと移っている(関連記事3面)。

百貨店の免税売上は好調だ。今年の春節期(今年2月15日〜21日)と昨年1月27日〜2月2日の比を数値で比較した。百貨店では、今年の「春節」期、各店とも前年を上回る免税売上を記録した。一方で訪日客の購買動向はこの2、3年の間で大きく変わった。大量に商品を買込む“爆買い”から、サービスを受けながら、じっくり商品を見極めて買うサービス・コト消費型へと移っている(関連記事3面)。

生活保護は潤世帯
豊島区には、現在、約6千世帯の生活保護利用者がいます。保護率は、全国や東京都の平均と比べ、やや高い状況ですが、近年は減少傾向を示しています。

豊島区 高野 之夫

ハローワークの連携の必要性
新宿区の被保護世帯数はリーマンショック以降に急増し、その後ほぼ横ばいで推移しています。区は、生活保護受給者の経済的自立を目指し、ハローワーク等との連携による就労支援を実施することにも、子どもを抱える世帯に対する学習支援事業や職員の助成等、様々な支援を展開しています。また、生活困窮者の早期発見・自立支援につなげるため、生活支援相談の実施や住宅確保・就労支援を行っています。今後も、各世帯の状況に応じ、自立に向けた支援に取り組んでまいります。

新宿区 吉住 健一

生活保護の実情と課題
給付以外の支援必要は、課題の解決は困難となっています。また、ケースワーカーは若年化の傾向にあり、これまでの担当者の経験等を継承する支援には限界があります。こうした中、区では被保護者の個々の事情に寄り添い、日常生活、社会生活、経済的自立を目指して支援に取り組んでいます。

新宿区 長谷部 健